染織工芸の美－技の神髄に触れる－

友禅訪問着「梅華文様」森口華弘作

平成26年5月13日（火）～6月14日（土） 9時30分 ～17時30分

休館日：日曜日・祝日　　入場無料　　問い合わせ ０３－３２３７－２４３５

共立女子大学　神田一ツ橋キャンパス　本館１階展示室
千代田区一ツ橋２－２－１

交　通：東京メトロ半蔵門線・都営地下鉄三田線・都営地下鉄新宿線
「神保町」駅下車 Ａ９出口から徒歩１分
東京メトロ東西線「竹橋」駅下車１ｂ出口から徒歩３分

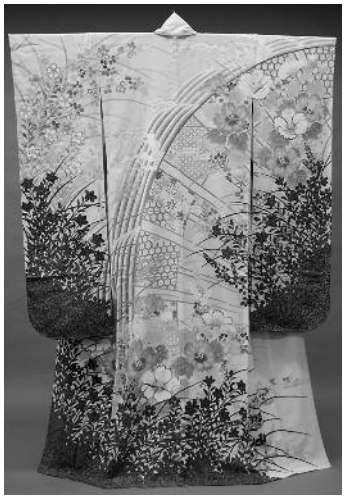
染織工芸の美
－技の神髄に触れる－

工芸品とは日本の風土と生活文化の中で育まれ、伝統的材料と技術により生みだされてきた生活を彩る美しい造形物のことであります。そこには陶芸、染織、漆芸、金工、木竹工、人形、諸工芸の分野が存在し、本展覧会では染織工芸品に注目致します。

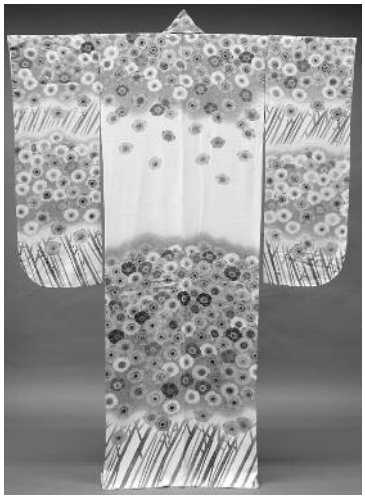
本学には歴代の諸先生方の高い審美眼により、素晴らしい作品が多数所蔵されております。中でも重要無形文化財保持者、すなわち「人間国宝」と称される伝統工芸の「技」を保持する最高峰の匠、森口華弘（無形文化財「友禅」保持者）（1909 ～ 2008）、羽田登喜男（無形文化財「友禅」保持者）（1911 ～ 2008）、小宮康孝（無形文化財「江戸小紋」保持者）（1925 ～）により制作された【染め技術】による貴重な作品が挙げられます。また日本の絹織物を代表する独創的な美術織物を制作し続けている龍村織物の作品や、地方色豊かな伝統的織物など【織り技術】による作品なども幅広く所蔵されております。

これらの作品を通し、長い歴史の中で研鑽され守られ現在に継承されてきた、世界でも類を見ないとされる日本の伝統的染織技術の多様性と、優美で精緻な世界観をご覧いただきたいと思います。

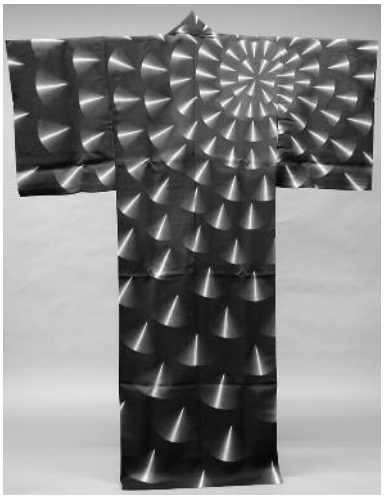
－主な展示作品－



友禅絽地夏物振袖
「清粧」羽田登喜男作



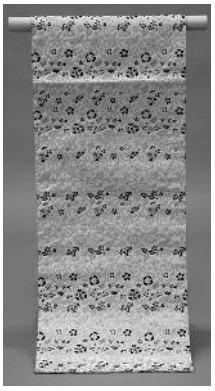
友禅縮緬地中振袖
「三吉野」羽田登喜男作
1974 年第 21 回日本伝統工芸展出品



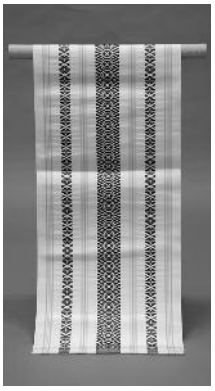
暈繝彩色藍型染着物
「調べ」松原与七作

手絞り萬代栄寿文様刺繍
総絞り袷振袖

黒地木彫彩花文様
袋帯　龍村織物



早雲寺台文錦丸帯
龍村織物



草木染　献上博多帯